「道の駅」の登録により期待される地域の活性化や経済効果について



質問者
中津川　定雄　議員

「やどりきテラス清流の里」は県内6番目の「道の駅」を目指し国土交通省に登録申請している。

「道の駅」は、道路利用者の快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供する施設であり、地域とともにつくる個性豊かな賑わいの核でもある。

「道の駅」の登録にあたり次の項目について問う。

質　既存施設を活用し「道の駅」を登録申請することになった経緯について。

答　寄管理センターは、以前より「道の駅」として登録の可能性を研究していたが、機能面において要件を満たしておらず検討を中断していた。

令和7年度に国の交付金を活用し、老朽化した同センターの改修を実施する中で駐車場やトイレなどの拡充により要件を満たすようになったため、県との調整を経て国土交通省に登録申請した。

A

「道の駅」の波及効果が寄地域全体に拡がることに期待する

回答（町長）



質　「道の駅」の登録により地域の更なる活性化が期待できるが、駅の運営形態や駅が生む経済効果について。

答　㈲みやまの里が9月末をもって指定管理を撤退するので、当面の間、町直営にて運営するが、次の指定管理者選定の準備をしている。「道の駅」に登録されることにより、交流・関係人口の増加、地元産業の振興、地域内の消費額の増加などの経済効果が見込まれる。

質　スポーツツーリズムと「道の駅」をどのように連動させ、地域の未来につなげるのか。

答　駐車場を会場としたマルシェと、連動したスポーツ大会の開催など、オールシーズンにおいて収益性のある一体的な事業経営を推進していく。



やどりきテラス　清流の里

ボトルドウォーター生産施設整備事業の進捗について



質問者
田代　実　議員

この事業は企画提案型のプロポーザル方式により提案業者を公募し、7月24日の審査委員会で優先交渉権者が選定されました。その後、選定された業者と基本協定書を締結して20年間に渡り事業を展開していくことになりますので、次のことについて町長のお考えを伺います。

質　プロポーザル方式により応募した業者数と、優秀交渉権者に選定された業者が優れていた内容について。

答　4グループ（6事業者）が説明会に参加したが、応募したのは1グループだった。そのグループの企画提案を審査した結果、生産能力・水道料金や施設使用料の支払い能力・ボトルドウォーター生産実績があるなど、町の要求水準を満たしていた。

A

事業者の撤退リスクを最小限とする契約を締結する

回答（町長）



質　業者提案の年間生産数と売上額について、どのように審査されたのか。

答　企画提案した代表企業の親会社である小田原紙器工業㈱が、外部に製造委託しているものを寄に整備する施設へ順次移管することで、事業開始当初から生産数と売上を確保できる点や、ブランディング事業者として広範囲な販路を有する博報堂がグループに参加していることなどを確認した。

質　水道水使用料や生産施設使用料の未納対策、20年間の施設利用期間満了前の撤退リスクについて、基本協定書等の契約時にどのように反映されたのか。

答　代表企業が20年間の施設利用契約等を解除する場合、違約金や使用料の支払義務を担保するため履行保証措置や親会社が連帯保証となる規定を明記して、リスクを最小限とする契約を締結する。



このページは、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。